

ハローワーク奈良 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

ア 当所では、早期再就職及び求人充足を促進するため、管内求人を含めたマッチングによる情報提供を積極的に行い、就職面接会を29回開催し、参加企業数延べ123社、参加者数430人で118人が就職しました。

うち福祉分野は、12回開催し、50事業所、161人の参加があり48人が就職しました。

また、自治体と連携した就職面接会を、奈良市、生駒市、天理市において10回開催し、57社、186人の参加があり54人が就職しました。（令和5年3月末までの状況）

特に、自治体と連携した就職面接会に参加した事業主からは、「地域における事業所PRになる。」と評価をいただいています。

イ 当所においては、マザーズコーナー、若者コーナー、就職氷河期支援コーナーなど各コーナーの就職支援対象者には、担当者制による継続した支援を行い、高い就職率を上げることが出来ました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、若手職員を対象として、労働法令や次世代育成支援対策などの関係法令や施策をオンラインや労働基準監督官による研修を実施し知識付与に努めました。

また、ハローワーク業務の「基本のき」から学び直すため、オンラインと集合研修を実施し相互理解と経験の共有を図りました。毎月、月次レビューを行い、取組と目標達成度を共有することにより、職員の内発的動機付けを図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

待ち時間や処理時間の短縮を図り迅速なサービスを提供するため、オンライン求職登録とマイページの開設を推進し、マッチングした求人情報をより早く提供できるよう取り組みました。求人情報の送信後には、電話によるフォローアップを行い、迅速かつ丁寧なサービスに取り組みました。

また、新卒応援ハローワークやマザーズコーナーは、SNSを活用して就活セミナーや求人説明会・面接会等の情報発信に取り組みました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

就職面接会の参加勧奨や周知を行った際、事業所を知らないため参加を躊躇するとの声を受け、就職面接会参加事業所の現地見学会を事前に行いました。また、エントランスのデジタルサイネージや待合席のモニターにて、事業所PR動画やスライドショーによる周知広報を行うなど、事業所の情報発信に取り組みました。事業所の協力を得ながらの試行実施でしたが、今後、事業所情報をわかりやすく発信するツールとして検討を進めます。

(4) その他業務運営についての分析等

多くの情報提供と来所勧奨により少なからず来所される方が増加しました。

特に、新型コロナウイルス感染症感染防止対策の変更が発表された以降、来所者はさらに増加が見られました。

今後、求職者ニーズや求人動向を把握し、状況に応じた対策を講じる必要があります。

また、子育て世帯に対する施策も踏まえつつ、自治体や経済団体と連携し地域が抱える課題解決に向けた取組を進めていきます。

2 特記事項

令和5年2月22日、生駒市と奈良労働局は雇用対策協定を締結しました。①女性や子育て世帯等の多様な働き方を希望する市民等の就労支援、②地元企業の人材育成、人材確保、③新卒者等若年者等の就職支援に、より一層、連携、協力して取り組んで参ります。

3 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

本省から通知される総合評価を記載

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	④ハローワー クの職業紹介 により、正社員 に結びついた 就職氷河期世 代の不安定就 労者・無業者 の件数	②障害者の 就職件数	⑤ハローワー クの職業紹介 により、正社員 に結びついた フリーターの件 数	⑥公的職業訓 練終了3か月 後の就職件数	⑦マザーズハ ローワーク事 業における担 当者制による 就職支援を受 けた重点支援 対象者の就職 率	⑨生涯現役支 援窓口での 65 歳以上の就職 件数
令和4年度実績	4,917	4,805	1,454	84.1%	92.9%	467	416	383	357	94.9%	241
令和4年度目標	5,127	4,905	1,599	90.0%	90.0%	341	325	471	294	94.0%	215
目標達成率	95%	97%	90%			136%	128%	81%	121%	100%	112%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大和高田 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

ア 当所ではコロナ禍からの回復を見据え、求職者担当者制による対面での相談とハローワークインターネットサービスの機能を活用することで利用される方のニーズに応えられるサービス提供に取り組みました。

イ 就労意欲の高い65歳以上の利用者が増加する中で求人者に対しては、シニア層活用の有用性について説明を行うことで多くのシニア歓迎求人確保に取り組みました。また、高年齢層に特化した就職ガイダンスの開催、就職面接会の開催を拡大することができました。

ウ 正社員を希望する若者や就職氷河期世代の方に対して、担当者制による模擬面接や応募書類の添削を行うとともに、コミュニケーショントレーニングを行う等ニーズに対応した支援を行うことができました。

エ 生活が困難な方に対して自治体（橿原市、香芝市、御所市、葛城市）との連携による定期的な巡回相談の実施と、就職後のフォローアップまで一貫した支援を行うことができました。

オ 奈良労働局の最重点施策「育児をしながら働きやすい奈良」実現のため、マザーズコーナーを中心とした応募しやすい求人確保と情報提供を積極的に行うことで、就職の機会を拡大することができました。また、橿原市、王寺町と連携した面接会を開催することで、地域の方へハローワークのサービスを知っていただく取り組みも併せて行うことができました。

カ 求人数が増加するとともに求人者の人手不足感が強まったため、応募が少ない求人について内容の検証や助言を積極的に行いました。更に求人事業所へ訪問し求人票のみでは知ることができない企業の特徴や詳細な情報を収集した上で、独自のPRシートを作成し利用される方へ提供することができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

経験の少ない職員においても質の高い相談が可能となるよう、年間を通じ事例検討会を開催することで継続的な人材育成に取り組むことができました。また、様々な相談に対応するため、労働基準法に関する研修等を行いハローワーク全体での対応力強化を進めることができました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ① 初めてハローワークを利用する方に対してハローワークインターネットサービスのマイページ開設方法を丁寧に説明し、開設後のタイムリーな求人情報の提供へ繋げることができました。
- ② 求人者に対して来所を要しない WEB での求人申し込みのメリットを広く周知したことで、申し込み全体の 8 割以上で利用いただくことができました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和 3 年度からの新型コロナウイルスによる影響が減少しつつある中、新たに仕事を求める方も少しずつ増加し求人数も増加しました。そのような中において、積極的にマッチングに取り組み、就職率は前年度を上回ることが出来ました。

令和 5 年度においては、仕事を探す方がより求人に応募しやすいよう求職者担当者制を充実させることで、ニーズの把握を詳細に行いながら能動的なマッチングを行います。また、求人票においては「わかりやすい」「見つけやすい」仕事内容の記載を進めていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

当所においては、ハローワークインターネットにおける求人者マイページ、求職者マイページの開設が増加する中、オンラインで可能なサービスの利用促進も同時に必要であると考えています。

これまでの対面での支援との調和をとりながら、利用する方が必要なサービスを適切に理解・選択できる周知や相談時の説明について、常に改善を図っていきます。

2 特記事項

管内自治体の多くが女性の就業について問題意識を持っていることから、令和 4 年度に引き続き自治体と情報の共有を深め、女性の雇用を進めるための子育て女性応援セミナーや女性が活躍している地域の企業 PR 等効果的な取り組みを進めていきます。

3 総合評価 (※)

良好な成果

本省から通知される総合評価を記載

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

所重点指標について記載

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により正社 員雇用に関わつ た就職氷河期世 代の不安定就労者・ 無業者の件数	生活保護受給者等 の就職率	ハローワークの職 業紹介により正社 員雇用に関わつ たフリーター等の 件数	生涯現役支援窓 口の 65 歳以上の 就職件数
令和4年度実績	5,115	4,553	1,451	89.1%	98.9%	389	67.7%	586	303
令和4年度目標	5,118	4,482	1,375	90%	90%	304	63.5%	476	173
目標達成率	99%	101%	105%			127%	106%	123%	175%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク桜井 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

ア 求職者及び求人者サービスを充実させるため、求職者担当者制による個別支援の強化を図るとともに、就職件数の目標達成に向け、毎月の目標に対する進捗管理を日々実行し、定期的な改善策等の検討や職員研修(就職に結びついた好事例の情報共有や紹介技法、手法等のスキルアップを図る)を実行し、マッチングの強化に取り組みました。

また、ビデオセミナーやサクセス就活塾の内容見直しを行い定期的に開催、求職者への個別支援の強化を図りました。

イ 雇用保険受給者に対しては、早期再就職への取組として、初回認定日において事前にマッチングにより選定した求人票を提示し、求職者のニーズ等をより詳細に把握する相談を実行し、今後の再就職支援を効果的に実施し、併せて、求職者担当者制への移行を図り、早期再就職支援の実施に取り組みました。さらに、再就職手当リーフレットを活用した相談の実施による周知及び再就職手当の支給額の目安を記載したシュミレーションシールを作成し、受給資格者証裏面に貼付し、再就職への意欲喚起を実行しました。

また、早期再就職及び受給中の就職促進実現のため、緊要度の把握に加えて、より再就職意欲の高い求職者を把握し、必要な支援を実行することが重要であることから、「雇用保険受給者にかかる早期再就職に向けた連携体制強化要領」を策定し、自己応募実績のあった受給者の情報を失業認定担当者から職業相談担当者へ提供し、自己応募先事業所の情報を踏まえた職業相談の実施による能動的マッチングによる求人票等の提示、提供による早期再就職実現を目指す取組を5月23日より実行しました。

ウ 管内求人に対する早期充足支援への取組として、管内求人のうち、職員と求人者支援員が事業所訪問を行い、事業所情報の詳細を「事業所PRシート」として作成し、ハローワークおすすめ求人コーナー「ハローワーク職員が行ってきました」と称した掲示コーナーを継続し、面接会開催ごとに掲示し、早期充足支援を実行しました。また、1階待合ディスプレイを利用した情報発信（訓練案内動画、面接会対象企業の紹介動画、就職支援動画）を行い就職支援を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

ア 幹部職員による日々の朝礼の実行及び毎月の幹部会議・職員会議の開催、職員研修等を実施し、業務進捗管理、個人情報漏えいの防止及び倫理規程の遵守など職員及び非常勤職員の資質の向上に努めました。

イ 所長による職員等の個別面談（3回）等において、取組の方向性（目的）、取組内容等を具体的に示し、ハローワークの使命、組織目

的及び「誰のため、何のための取組か」ということを常に認識させ、支援における意識の向上に取り組みました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

① 雇用保険受給者の早期再就職支援につながる以下の改善を行いました。

ア 「雇用保険受給者の早期再就職支援の取組」を実行

雇用保険受給資格決定者に係る雇用保険説明会時及び初回認定日での職業相談において、能動的マッチングにより職業相談に活用する複数の求人票を事前に準備し提示することにより、求職者のニーズ等をより詳細に把握し、今後の早期再就職支援を効果的に実行し、雇用保険受給者が早期に再就職できるよう継続した支援を実施しました。

イ 「雇用保険給付担当部門と職業相談部門との連携による再就職支援の強化」を実行

雇用保険給付担当部門と職業相談部門との連携による再就職支援を強化するため、「雇用保険受給者にかかる早期再就職に向けた連携体制強化要領」を策定し、自己応募による活動申告のあった受給者の「失業認定申告書」の写しを給付担当者から職業相談担当者へ回送し、応募先事業所の内容等を踏まえた職業相談を実行、応募回数が3回以上、対面認定時に緊要度が高いと思われる求職者の誘導をすることにより、能動的マッチングによる積極的紹介による早期再就職促進を5月23日から取り組みました。

② 「管内求人に対する早期充足支援につながる以下の改善を行いました。

ア 求人充足会議をより効果的に実施するために1月よりチーム支援制を導入し、管内求人に対する充足対策を強化しました。

イ 管内求人のうち、求人充足会議にて選定した求人票事業所に対し、職業相談部門及び求人・専門相談部門の職員等が事業所訪問を行い、事業所の詳細な情報を収集し、「事業所PRシート」を作成のうえ、面接会の開催提案を行い、ハローワークおすすめ求人コーナー「ハローワーク職員が行ってきました」と称した掲示コーナーに掲示し、求職者へのPRと早期充足支援に取り組みました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① 新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意した就職支援サービスの継続を図るため、HWシステムのオンライン機能を活用した情報提供及び職業相談の実施により、感染防止に注意した新たなサービス方法の改善に取り組みます。

② また、ハローワーク桜井の利用促進広報のため、桜井駅連絡通路の広報スペースに当所のポスター掲示を継続し、面接会等のイベントポスター等を地方自治体との連携により周知を行い、利用勧奨の周知を継続して取り組みます。併せて、子育て中の女性等個々の求職者ニーズに応じたきめ細やかな就労支援に取り組むとともに、SNS等(LINE等)を活用した情報発信により、マザーズコーナーの利用促進及び各種イベントの周知に積極的に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

- ① 当所管内では、60歳以上の求職者が増加しており、令和3年度より設置された生涯現役支援窓口におけるシニア世代に対する就職支援に取り組めます。支援の一環として、シニア世代に対する支援を強化するためシニア向けの求人を集めた「シニア求人情報」の定期発行を行います。
- ② 地域の皆様から、より一層信頼され、常に利用者の期待に応えることができる雇用相談機関を目指し、職員一人ひとりが主体者となり、求人者及び求職者支援に取り組んでいきます。

2 特記事項

特になし。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	正社員に結びつ いた就職氷河期世代 の件数	マザーズハローワ ーク事業おける重 点支援対象者の就 職率	人材不足分野の 就職件数
令和4年度実績	1772	1426	475	86.0%	96.8%	138	95.0%	413
令和4年度目標	1751	1412	431	90.0%	90.0%	85	94.0%	399
目標達成率	101%	100%	110%			162%	101%	103%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク下市 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職、充足、雇用保険受給者の早期再就職をはじめとするすべての指標の底上げを目指し、昨年度に引き続き就職面接会イベントを月2回以上開催することを目標に掲げ、取組を進めました。複数企業の参加による合同面接会イベント開催に当たっては、参加企業が所在する自治体の協力を得て庁舎施設を会場として提供いただき、参加者の利便性向上を図るとともに、自治体が発行する広報誌などを通じ地域住民の皆様にも周知いただくなど、イベント効果の向上のため管内自治体との連携し取組を進めた結果、イベント開催回数56回、参加企業数延べ81社、参加者数391名、就職者数134名と昨年度実績を大きく上回る成果を得ることができました。

また、11月には近年減少傾向が顕著である求職者の確保に向け、五條市が主催する休日庁舎開放イベントにイベントブースを出店。所属職員全員休日出勤によるPR活動に取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

若手職員の資質向上と求人・職業紹介業務担当非常勤職員に雇用保険制度の知識付与を図ることの2点を目的として、雇用保険担当若手職員講師による業務交流研修を企画実施しました（11月）。

また、ハローワークの求人・職業紹介業務等においては、多くの場面で労働基準法など各種労働法の知識が必要になることから、大淀労働基準監督署に講師依頼し労働法令研修を実施しました（1月）。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 求職者の皆様にダイレクトかつタイムリーなイベント情報提供を行うため、LINE公式アカウントを開設して、就職面接会やセミナーの開催情報等の配信に取り組みました。

② 昨年度に引き続き、雇用保険受給者全員を担当者制による支援強化の対象とし（「富士山プロジェクト」）、個々のニーズに応じた紹介サービスの提供に努め、早期再就職の実現に取り組みました。

③ 職探しの意思がありながら求職活動に着手できていない方に向けたハローワーク利用勧奨の一環として、今年度新たに管内主要商業施設（スーパー）に協力を依頼し、店内にイベントチラシや求人情報誌等の広報用資料を継続的に懸架いただくこととしました。

④ 求人者の利便性向上を図るため、HW インターネットサービスによる求人者マイページの利用促進に向け、所内プロジェクトチームを結成し、所内研修やミーティングを重ね、効果的な周知用資料の作成、求人企業への利用方法説明の統一化、利用勸奨履歴の共有管理などに取り組み、短期間で目標値を大きく超える成果を上げるに至りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークシステム刷新により「マイページ」の機能が加わり、求人紹介業務関係の様々な手続きがオンラインで行えることとなりましたが、今年度求人者マイページはその開設率・利用率が大きく上がったものの、求職者マイページの利用がなお低調でした。多くの事物でデジタル化が進展し利便性の向上や効率化が進んでいく中、ハローワークの紹介サービス提供においてもオンライン化の推進は必要不可欠であると考えられるため、今後その利用率アップに関する取組を強化してまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

新規求職者数が年々減少傾向にある中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり令和2年度、令和3年度とその減少幅は大きなものとなりましたが、令和4年度に入り、ハローワーク利用勸奨に係る広報活動に精力的に取り組んだことに加え、ウィズコロナやアフターコロナの考え方が広まったことで、結果、その傾向に歯止めがかかりました。また企業の経済活動の回復・採用意欲の高まりもあり、求人・紹介・充足など、他の各指標とも前年度を上回る結果となりました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

本省から通知される総合評価を記載

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

所重点指標について記載

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	就職氷河期世代 就職件数	訓練修了者 就職件数
令和4年度実績	1,148	1,077	221	89.6%	97.4%	73	31
令和4年度目標	1,142	1,084	199	90.0%	90.0%	59	25
目標達成率	100%	99%	111%			123%	124%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大和郡山 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

ア 新型コロナウイルス感染症等によりハローワークの来所者が減少している中、ハローワークからの能動的なマッチング支援を推進していくため求職者担当者制、予約相談に重点的に取り組んできました。その結果、令和4年度の就職件数は1,984件となり、前年度の108.7%を達することができました。

イ コロナ禍において、求職者・求人者ともに行動が抑制される中、求人票以上の事業所情報の収集に取り組みました。事業所の声を直接求職者に届ける「事業所へ行ってきました」を作成し管内事業所のアピールを行いました。

また、事業所PRシートにQRコードを貼付け当該事業所の求人閲覧を容易にし、動画情報があれば同様にQRシートから動画閲覧を可能にして、求職者が持ち帰られるようにしました。

ウ コロナ禍において、求人者が来所せずとも求人申し込みができる求人者マイページの普及強化に取り組んできました。その結果、新規求人申込件数に占めるオンライン新規求人申込件数の割合は、令和4年4月が48.9%でありましたが、令和5年3月には98.8%、全国ハローワークの9番目となり、求人者からは迅速な求人手続きについて評価をいただいています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

ア 職業相談手法のレベルアップを図るため、就職支援にかかる好事例、困難事例、課題解決方法等についての事例検討会を7月及び12月に開催し、合計12回実施しました。

イ 職員の知識習得のために社会保険の適用拡大や年金制度の改正等の研修、労働基準及び雇用環境均等行政との共同研修による労働基準法・次世代育成支援の研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 「働く女性応援コーナー」を設置し、職業相談と職業訓練相談をワンストップで相談できる窓口を設けるとともに、子ども連れでも安心して相談できるキッズコーナーを併設した個別相談窓口を開設して、より多くの求職者がハローワーク窓口を利用できるように改善を図

りました。

そして、「働く女性応援コーナー」として、大和郡山市との共催による商業施設における子育て応援ハローワーク出張相談会、斑鳩町「女性活躍推進セミナー」での講義・相談会及び当所による「働く女性全力応援セミナー」の開催に取り組みました。

② 当所ホームページ及びLINE 公式アカウントから、各窓口の待ち人数を表示して混雑状況がわかるようにしました。

また、①エリア別、②子育て応援求人、③高齢者活躍求人、④新着求人、⑤急募求人を容易に検索できるようにし好評を得ています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人者マイページの開設を促進しオンラインによる求人受理、迅速な求人手続きについては、一定のサービス推進が図られてきたところですが、オンライン登録者へのメッセージ送信や送信時の URL の貼付け等の改修が予定されており、有効求職者の求職者マイページ開設を促進し一層のオンラインサービスの普及を図ってまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要があるものの、新型コロナウイルス感染症の第5類感染症へ変更され人手不足感も高まっていることから、求人事業所への支援の充実を図っていきます。

そのために、事業主団体と共催による合同面接会、他のハローワークとの連携した合同面接会を開催し、また計画的なミニ面接会も実施します。

2 特記事項

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク職業 紹介により、正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	公的職業訓練修了 3か月後の就職件 数	生涯現役支援窓口での 65歳以上の就職件数
令和4年度実績	1,984	1,395	588	85.1%	100.0%	174	154	163
令和4年度目標	1,892	1,536	592	90.0%	90.0%	125	109	74
目標達成率	104%	90%	99%			139%	141%	220%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率